

やってみよう

画工作

家庭学習

なるほど！
それいいね！
…に出あえる時間

はじめに、イメージしてみてください。

食器を洗っていたら、手がすべってしまい
お気に入りの茶碗がわれてしまいました…。
お店に行ったら、どんな茶碗を買いますか。

お店についたら茶碗を手にとって、ちょうどいい大きさはどれかな、気持ちのよい手ざわりはどれかな、ご飯をおいしそうに盛ることができる形や色はどれかな…と自分の生活にピッタリなデザイン探しがはじまると思います。

この時、体全体を使って働かせているのが「**造形的な見方・考え方**」というものです。それこそ図工や美術の時間に学んだ力であり日々の生活の中で私たちが身に付けた力です。

図画工作科の時間は、ただ絵を描く時間、工作をする時間というわけではなく、様々な表現や鑑賞の活動を通して、**つくりだす喜び**を味わう時間です。ホンモノそっくりな絵や立体作品をつくりだすことが目的ではありません。作品や活動をつくりだすということは**かけがえない自分**を見いだしたり、つくりだしたりすることなのです。

生活の中や自然の中にある形や色などの美しさやよさ、面白さに気付き、そこで感じたことや、好きな形や色などを自らの表現に取り入れてみる…図工の楽しさはそこにあります。

でも、図工の時間には、画用紙やいろいろな材料が必要で、家庭学習でやるには準備が難しいのでは…そんな思いもあるでしょう。

そこで今回は、横須賀市造形教育研究会で教科書と同じねらいで開発されている題材を中心に、できるだけ家庭学習で取り組みやすい題材を紹介いたします。そこで見られるお子さんの豊かな発想に対して「**なるほど！**」「**それいいね！**」と共感してみてください。